

ものづくり大学卒業生の就職先等の進路先への意見聴取等（2024 年度）

本学卒業生への企業からのご意見を伺い、本学の教育内容等の改善に資することを目的に、以下の通りの意見聴取調査を実施した（主な内容は、2023 年夏、2023 年 12 月と同様である）。

1. 意見聴取の実施時期：2024 年 12 月 16～17 日
2. 意見聴取の場所：本学内で、企業研究交流会の前後で時間をとっていただいた。

3. 意見聴取先：両学科のバランスに配慮し、各系統 3 社ずつ行った（敬称略）。

(1) 製造業系：

日本ハイコム株式会社
岡谷電機産業株式会社
高齢・障害・求職者雇用支援機構

(2) 建設業系：

小川工業株式会社
西武建設株式会社
岡建工事株式会社

4. 意見聴取のとりまとめ概要

Q1.本学の卒業生・修了生を全体的に見て、社会人として必要と思われる能力や資質は、現時点で備わっていますか？

社会人として必要と思われる能力・資質：

- (1) コミュニケーション能力、(2) 自己理解・主体的行動力、
(3) 課題発見・対応能力、企画力、計画力、(4) 創造力・論理的思考力、
(5) 学習習慣・自己啓発力、(6) コンプライアンス・倫理観・モラル、
(7) 専門知識・技能、(8) 文章表現力・数的処理能力、
(9) 国際感覚・異文化理解力、(10) 外国語運用力、(11) 情報通信技術（ICT）活用力
(12) チームワーク・リーダーシップ、(13) 一般的知識・幅広い教養
(14) データ分析・数理的分析力

次のようなご意見をいただいた。

(7)が 6 社全員、(1)、(2)、(6)が 4 社で、かなり高く評価していただいた。

(3)が 3 社、(12)が 2 社評価していただいた。

逆に、(8)、(13)はもう少しあると望ましいという意見をいただいた。

そのほか、以下のご意見を頂いた。

- インターンシップに参加し、採用した直近の学生は、面接でも、意見を考え主体的にできると感じた。採用後も設計開発に取り組む姿勢に主体性がある。在学中に 3D CAD に触れる機会（授業かプライベートかは不明）があったようで、技能を有していると感じた。
- 実技の知識が豊富で、主体的に行動している。国際感覚や異文化理解力は、採用面接の時に長けていると感じます。在学中に留学生と関わっていることがあるのかもしれない。

○ 割とおとなしめである。

Q2.本学では、以下の知識や資質を身に付けた学生に対して学位を授与する方針を掲げています。卒業時にそれらが身に付いていたと思われますか？

評価点→	5	4	3	2	1	合計
①高度なものづくりに対応できる基礎学力および工学の専門知識を有する	2	4	0	0	0	26
②ものづくりのための基本的な技術・技能が実践でき、それらを体験的知識として応用する力を有する	3.5	1.5	1	0	0	26.5
③工業製品又は建築・土木等のものづくり実務に関する深い理解を有する	2	3	1	0	0	25
④ものづくり現場での課題創出と実践的な課題解決に取り組む力を有する	1	5	0	0	0	25
⑤豊かな教養と国際性を持ち、社会性、創造性、倫理性を有する	0	1.5	4	0.5	0	19

(評価点) 5：身に付けている
 4：どちらかと言えば身に付いている
 3：一概に言えない
 2：どちらかと言えば身に付いていない
 1：身に付けていない

合計は、上記の5～1のポイントに企業数をかけて合算したものであり、まとめは以下のとおり。

- ①から④までいずれも同等程度の評価となった。
- 5の評価をつけられた項目は企業によって異なっており、各企業が求める人物像による差異や、実際に就職した学生による差異が出ているものと思われる。
- ⑤については少し評価が下がっており、今後の検討が待たれる。
- 以上の結果は、2023年の夏と12月にそれぞれ別の6社についてヒアリングした結果と同様であり、本学の卒業生への客観的評価としてとらえられる。
- また、建設関連の企業からは、資格試験の論文に弱いというご意見を頂いた。
- 両系ともに、インターンシップの経験が役にたっているというご意見を頂いた。
- 製造系の企業から、総合的に見て、コミュニケーションを取るタイプというより、地道にコツコツ取り組むタイプの印象。材料を考えて製作し、評価するといった「ものづくりの姿勢」を有し活躍できる人材。国際性については、自社に海外拠点があるため、海外の異文化など多様性への理解がある人材だとありがたい。というご意見を頂いた。

Q3. 技能重視の技術者教育による本学卒業生・修了生について、どのように評価されていますか？

- ① 貴社の求める人材像に合致する (6社)
- ② 貴社においては有効性を発揮できないが、産業界全体としては育てるべき人材像である (0社)
- ③ 他大学との違いがわからない (0社)

④ 有効であるかどうか判断できない・どちらともいえない (0 社)

⑤ あまり有効ではない (0 社)

○ 6 社すべてに①を選択していただき、今後も採用していただけると期待をしている。

○ 個別の意見としては、以下のようなものがあった。

- ・ 主体的に行動できる人材を求めており合致する。最初はコミュニケーションが積極的に取れなくても、学ぶ姿勢と課題解決の意欲があれば、入社後に身につけることができる。
- ・ ものづくり大学の卒業生には即戦力として期待を持っている。
- ・ 同社は施工管理メインなので、実習経験の多い卒業生は合致。初めは人見知りする人もいるが、比較的リーダーシップが高い。
- ・ 自社は施工管理がメインだが、卒業生は現場の知識や実技が高く、他大学より建築の知識がある。

Q4. ものづくり大学の卒業生・修了生について、どのような点を評価されて採用されましたか？

例：①専門知識／能力がある ②技能がある程度できる ③創造的である
④理解力／思考力がある ⑤現場を知っている／いやがらない
⑥考え方がポジティブである／元気がある ⑦体力／忍耐力がある
⑧コミュニケーションがよい ⑨協調性がある ⑩挨拶など、マナーが良い

○ ①専門知識／能力がある、②技能がある程度できる、⑤現場を知っている／いやがらない、⑥考え方がポジティブ／元気があるなどに加え、実践教育が多く現場で活躍するイメージを持っている。前向きに考えている点などがある。(製造業系)

○ ⑥考え方がポジティブ／元気がある、⑧コミュニケーションがよい、⑩挨拶など、マナーが良い、に加えて、特に、「やる気」を評価して採用している。売り手市場で採用が厳しくなっている状況を受けて、以前は理系学生のみを対象にしていたが、現在は、理系文系問わず採用しており、採用時はとにかく「やる気」を評価する。仕事は入社後に覚えてもらう。ぜひ、IS から受け入れたい。(製造業系)

○ ①専門知識／能力がある、②技能がある程度できる、⑥考え方がポジティブ／元気がある、⑩挨拶などマナーがよいを重視している。(製造業系)

○ ①専門知識／能力がある ②技能がある程度できる、⑤現場を知っている、⑥元気がある、⑧コミュニケーションがよい ⑨協調性がある ⑩挨拶、などに加えて、仕事に前向きであり、職人や先輩と会話ができ、就職時の熱意が高い。(建設業系)

○ ①専門知識／能力がある、⑦体力／忍耐力がある、⑧コミュニケーションがよい、つまり、土木の知識が豊富で、適応力があり、コミュニケーションや協調性がある。(建設業系)

○ これらの項目全体的に見てということに加えて、「この会社に入りたい」という思いを持っている学生を採用した。年に 2～3 名の採用だが、定常的に採りたい。(建設業系)

○ このほかに、近年、ブロック採用として、転勤をなくす方式も始めている。というところもあった。

Q5. 社会人として必要なこと、学生時代に身に付けておいて欲しい能力や資質、経験しておいて欲しいこと等を教えてください。

○ 製品の知識などは入社後でも学べることから、実践的な経験 (CAD など) があるとありが

たい。また、周りとうまくコミュニケーションが取れたり、主体性など。(製造業系)

- 技術は大丈夫だと思う。福祉の考え方、公的機関で働くということの意義について、関心を持ってほしい。ITについては、リテラシーなど、体系的な研修を受けてきてほしい。(製造業系)
- ミスを恐れず、積極性とチャレンジ精神のある人材。失敗を改善に活かしてPDCAを回せる人材。建設業界においてもPCスキル（特にエクセル）ができるとよい。(建設業系)
- 社会人と学生の違いを認識し、自身と合わない人がいる環境でもあるため、自分からも合わせられるコミュニケーション能力があるとよい。また、疑問に思うことを聞く力も必要。(建設業系)
- 入社後、ワードやエクセルなどでの資料を作成し、説明などを行うので、PCスキルの授業があるとよい。また、コピー機や電話の使い方も大学では教えると良い。(建設業系)
- 即会社に、という意味では、PC関係の能力をつけてきてほしい。会社に入って初めて施工図を書くという卒業生もいるが、できればものづくり大学の卒業生には勉強してきてほしい。現場では労働時間についての働き方改革の波もあり、一から施工図を書いている時間があまりとれないこともある。(建設業系)
- BIMについての意見交換をしたが、まだあまり導入できていないという会社もあった。(建設業系)

以上